

急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率

脳梗塞の発症で入院後4日以内にリハビリテーションが開始された割合を示しています。脳梗塞を発症し長期間寝たきり生活となると、筋力の低下や運動麻痺による手足の拘縮、肺炎や褥瘡(床ずれ)などの廃用症候群を引き起こしやすくなります。これらの予防・改善につなげ患者様の早期社会復帰、QOL(生活の質)向上のためにも早期リハビリテーション開始が必要となります。

【当院の活動】

発症早期から、医師の指示の下で安全かつ適切なリハビリを提供しています。状態が安定している方は入院当日からリハビリを開始しています。

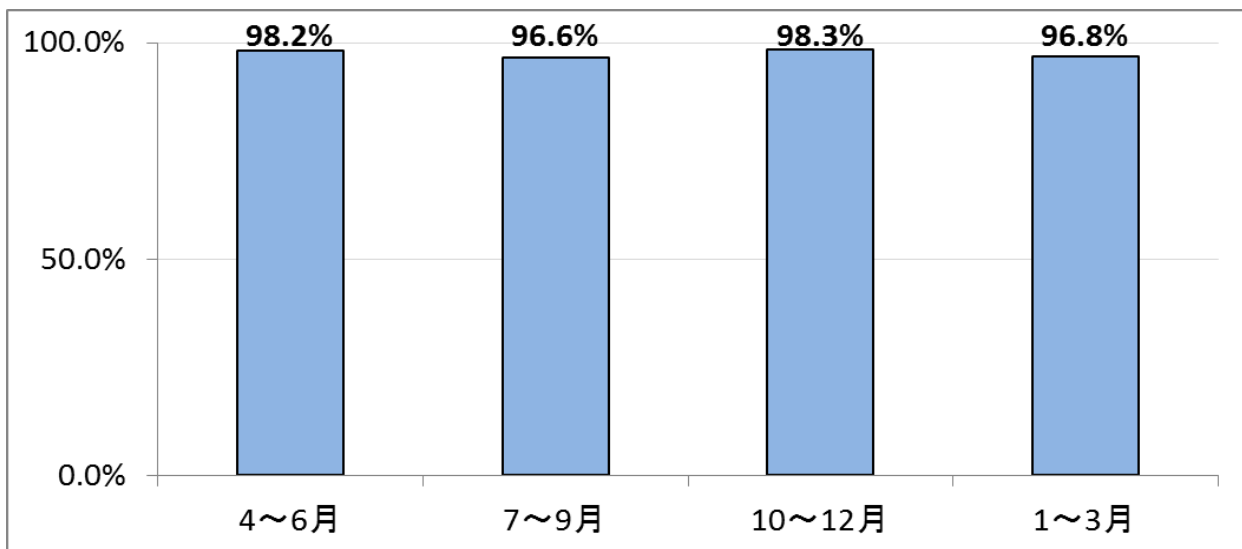
対象病棟： 一般病棟

計算式：
$$\frac{\text{分子)} \quad \text{分母のうち、入院してから4日以内にリハビリテーションが開始された患者数}}{\text{分母)} \quad \text{急性脳梗塞(発症時期が3日以内)の退院患者のうち、リハビリテーションが施行された退院患者数}}$$

対象期間： 3カ月

データ件数:

	2021年度			
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
分子	54	56	59	60
分母	55	58	60	62
開始率(%)	98.2%	96.6%	98.3%	96.8%



●年度別比較

データ件数:

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
分子	148	205	179	208	206	229
分母	153	213	187	213	213	235
開始率(%)	96.7%	96.2%	95.7%	97.7%	96.7%	97.4%

